

福岡の鹿踊・剣舞

由来

福岡の鹿踊・剣舞保存会の会長鶴田義夫家は踊組発祥以来、庭元（大宿）の家系を継いできた。同家に伝来する慶安2年（1649）の伝書「釈迦舞流剣拝祓傳巻」のほか多数の伝書類によれば、福岡の鹿踊と剣舞は仙台開府に際し、1638年より城下八幡町龍宝寺（現青葉区八幡）に発祥したのから移伝したとされる。同時期に、青葉区宮町、川前、本木、泉区野村、朴沢、上谷刈などにも移伝した。そのうち現在に伝承されているのは、福岡、川前、上谷刈の3団体だけである。

八幡堂に伝来したときから鹿踊と剣舞は一对として継承されている。鹿踊は湯夏（かっか）という稲虫によって3年不実となっていたところ、鹿9頭が稲虫を食い尽くしてくれて豊作となったと記されている。剣舞については、悪魔外道が世を乱し、耕作も不実となっていたとき、12騎の若者によって残らず退治できたが、その靈魂が暴れ回っていたものを、一人の貧老僧が念仏を唱えて12騎の若者とともに手拍子、足拍子をもって舞ったところ国中が平和になったことが由来であると記されている。

現在でも、福岡の鹿踊・剣舞保存会は活発な活動が続けており、宮城県指定無形民俗文化財並びに仙台市指定無形民俗文化財に指定されている。

福岡小学校の鹿踊・剣舞

昭和50年、小学校、保存会、泉市教育委員会が、児童に教育活動として練習させ継承させることで意見がまとまり、「子供たちの人格形成と郷土愛の育成のため」「文化財を受け継いでいくため」に、週1回の特別クラブ活動（創意の時間）として活動が始まった。

鹿踊・剣舞の伝統舞法は複雑難解であり、当初小学生では習得が無理とされていたが、児童と教員、そして保存会の熱意と努力をもって実っている。

特筆すべきは、11月から2月までの間、卒業する6年生が師匠となり、4、5年生の弟子にマンツーマンで自分が学んだ「技」と「心」を伝承している点にある。この引き継ぎ方式は、他の模範となり、大きな伝承効果が上がっている。

これまでの主な公演内容（右記をのぞく）

通町小学校区運動会(s52)、泉市体育館落成記念式典(s53)、七北田ダム起工式(s53)、宮城県青年祭(s54)交通フェスティバル(s58)、七北田ダム竣工式(s59)少年の主張大会(s61)、宮城県造形教育研究大会泉大会(s61)、健全育成宮城県民のつどい(s62)、住吉台小学校落成祝賀会(s63)、宮城県PTA大会(s63)、梅津杯少年野球記念大会(h1)、仙台市西農協祭(h1)、裁松院祭礼(h2)、宮城県統計教育大会(h2)、泉区愛泉荘祭(h4)、生涯学習フェスティバル(h4)、泉ヶ岳雪祭り(h7)、地球人井戸端会議(h7)、コスモスフェスティバル(h8)、泉の道物語(h9)、泉区青少年のための市民会議(h9)、吉成市民センター(h9)、利府町世代間交流のつどい(h14)、全国栄養士研究大会(h16)、第13回地域伝統芸能全国フェスティバルやまがた(余目)(h17)、仙台青葉まつり開祭式に出演(h18)、泉区民ふるさとまつり参加(h19)、仙台青葉まつりに出演(h20、h21)、第25回民俗芸能のつどい出演(h23)

年表

昭和50, 4	福岡小学校、保存会、泉区教育委員会の意見がまとまる。
昭和50, 6	週1回、特別クラブ活動（創意の時間）として活動開始
昭和51, 3, 15	郷土芸能発表会（初めての発表会）
昭和53, 1, 29	郷土芸能クラブ、宮城県ふるさとづくり大会出演
昭和59, 9, 30	泉市民ふるさと祭りに初出演（～現在）
昭和60, 11, 16	泉市中央農協祭出演（～平成8年）
昭和60, 12, 23	河北新報記者取材（1月10日に掲載）
昭和62, 9, 28	東北博覧会出演
昭和63, 7, 5	練習風景NHKテレビ取材、放映
平成2, 8, 16	福岡校区夏祭りに参加（～現在）
平成3, 2, 27	河北新報に記事掲載
平成3, 3, 1	「市政だより」のトップ写真を飾る
平成3, 11, 9	「冠ふるさと祭」で根白石中学区の各民俗芸能とともに発表（～現在）
平成4, 7, 9	地域の方々による鹿踊用袴制作
平成4, 7, 19	仙台市地下鉄泉中央駅開通通さの中熟演
平成5, 11, 17	泉和荘訪問（～現在）
平成6, 12, 14	NHK「小朝が参りました」に出演（広瀬文化センター）
平成7, 3, 8	剣舞用袴制作
平成7, 11, 4	文部省指定伝統文化教育推進実践中間発表（根白石小体育館）
平成8, 3, 3	中山平の鳴鶴堂に鹿踊用太鼓張替え依頼
平成8, 3, 14	引継ぎ式に全校児童が初参加（～現在）
平成8, 11, 22	文部省指定伝統文化教育研究大会公開
平成9, 2, 23	水泉荘訪問（～現在）
平成 9, 11, 14	伝承活動で博報賞受賞
平成10, 3, 12	体育館落成を祝う会、伝承活動引継ぎ式、TBCテレビ、河北新報取材
平成11, 2, 19	仙台市国際姉妹都市フランス・レノヌ市ブルターニュ民俗舞踏団と交流
平成11, 3, 9	NHK「おはよう日本」全国放映
平成12, 4	総合的な学習の時間として伝承活動
平成13, 9, 22	宮城国体ボート競技開会式出演
平成13, 11, 18	北海道東北ブロック民俗芸能大会に参加
平成15, 10, 18	宮城学院女子大学祭に出演
平成16, 9, 19	第5回岩手県青年民俗芸能フェスティバルに出演（水沢文化会館）
平成16, 11	児童数減少により継続的に4年生から伝承活動を行う。
平成17, 3	鹿剣学習室完成
平成18, 1, 6	伝承活動を核とした総合的な学習の研究論文最優秀賞受賞
平成18, 3	鹿踊袴、和尚袈裟新調、剣舞面追加
平成19, 10, 17	フランス・ブルターニュ民俗舞踏団と交流
平成22, 2, 23	文部科学省指定「伝統文化教育実践研究校」

